

アクアトム（キッズパークつるが）  
個別施設計画

令和3年3月

敦賀市企画政策部ふるさと創生課

## 目次

---

1	策定の目的と位置付け .....	1
	（1）目的 .....	1
	（2）本計画の位置付け .....	1
2	計画期間と対象施設 .....	2
	（1）計画期間 .....	2
	（2）対象施設 .....	2
3	現状と課題 .....	2
4	基本的な考え方 .....	3
5	施設の状態 .....	3
6	対策内容と費用 .....	4
	（1）対策内容と実施時期 .....	4
	（2）概算費用 .....	4

・ 本計画は、特に断りがない場合、令和元（2019）年度末時点のデータに基づき作成しています。

# 1 策定の目的と位置付け

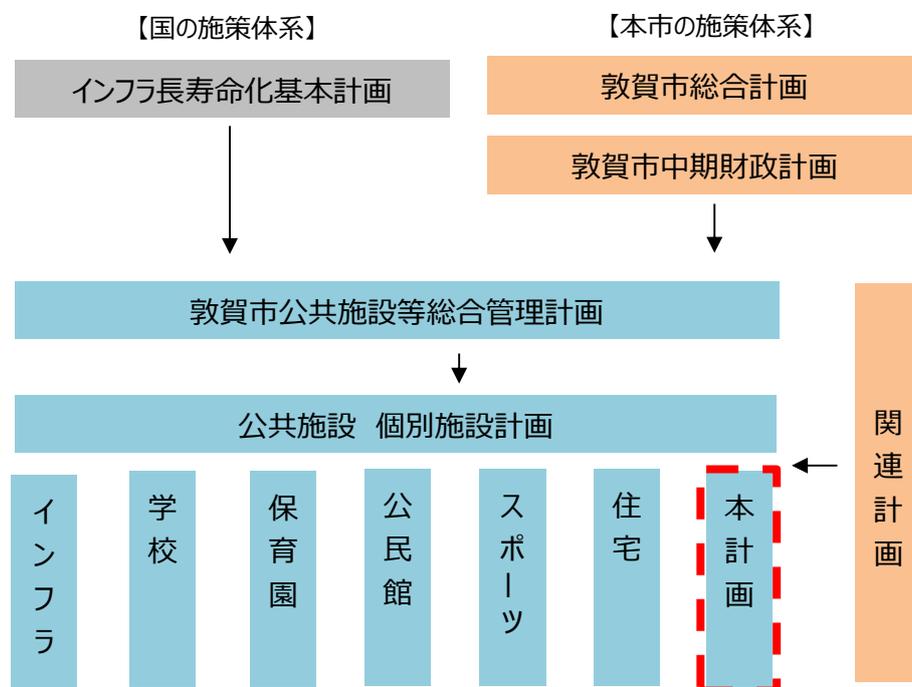
## (1) 目的

本計画は、平成29(2017)年1月に策定された敦賀市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画として、アクアトム(キッズパークつるが)の管理に関する具体的な対応方針を述べることを目的としています。

## (2) 本計画の位置付け

本計画は、敦賀市公共施設等総合管理計画の下位計画となります。

図表1 本計画の位置付け



## 2 計画期間と対象施設

---

### (1) 計画期間

本計画の計画期間は、令和3（2021）年度から令和12（2030）年度までの10年間とします。

なお、本計画は、敦賀市公共施設等総合管理計画の改訂や社会環境等の変化等を踏まえ、適時見直しを行います。

### (2) 対象施設

本計画の対象施設は、アクアトム（キッズパークつるが）です。

図表2 対象施設概要

施設名称	地区	運営形態	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	経過年	耐用年数	残耐用 年数
アクアトム（キッズパークつるが）	北	直営	894	2000	19	38	19

## 3 現状と課題

---

アクアトムは、平成13年に立地地域における科学技術の普及及び理解促進並びに地域交流の場となる施設として核燃料サイクル開発機構（現 日本原子力研究開発機構）により開設され、平成27年に同機構から敦賀市及び福井県に移譲されたのち、平成29年にアクアトム1階部について、児童の健全育成及び中心市街地の活性化を実現することを目的に、キッズパークつるがとしてオープンしています。

また、市の緊急避難場所として指定を受けています。

建築から19年の施設であり、経年劣化による設備不良については、必要に応じた設備更新をするとともに、建物および設備の点検を実施しております。令和元年度に実施した建物自体の点検の結果、設備の劣化を除く重大な課題はありません。

## 4 基本的な考え方

---

アクアトム（キッズパーク）は、児童の健康増進や中心市街地の活性化の拠点として重要な機能を有していることから、今後を存続します。

また、建物自体は、同機能を長期に渡り安定して提供できるよう、劣化箇所の有無や兆候を早期に把握し対応する予防保全を導入することで、長寿命化を図ります。

## 5 施設の状態

---

アクアトム（キッズパーク）では、建築基準法による法令点検と、「敦賀市公共施設簡易点検マニュアル」に基づく目視点検を行っており、その結果は以下のとおりです。

図表 3 法令点検及び簡易目視点検結果

施設名称	建築物	設備その他
アクアトム (キッズパークつるが)	・屋外広場にタイルの剥がれが数ヶ所あり	・遊具の一部に経年劣化が見られる

施設運営に支障をきたす修繕箇所はありませんが、法令点検及び簡易目視点検により異常が発見された場合は、速やかに修繕を行います。

## 6 対策内容と費用

### (1) 対策内容と実施時期

基本的な考え方や施設の状態を踏まえた、本計画期間（10年間）における具体的な対策内容と実施時期は次のとおりです。

図表4 対策内容と実施時期

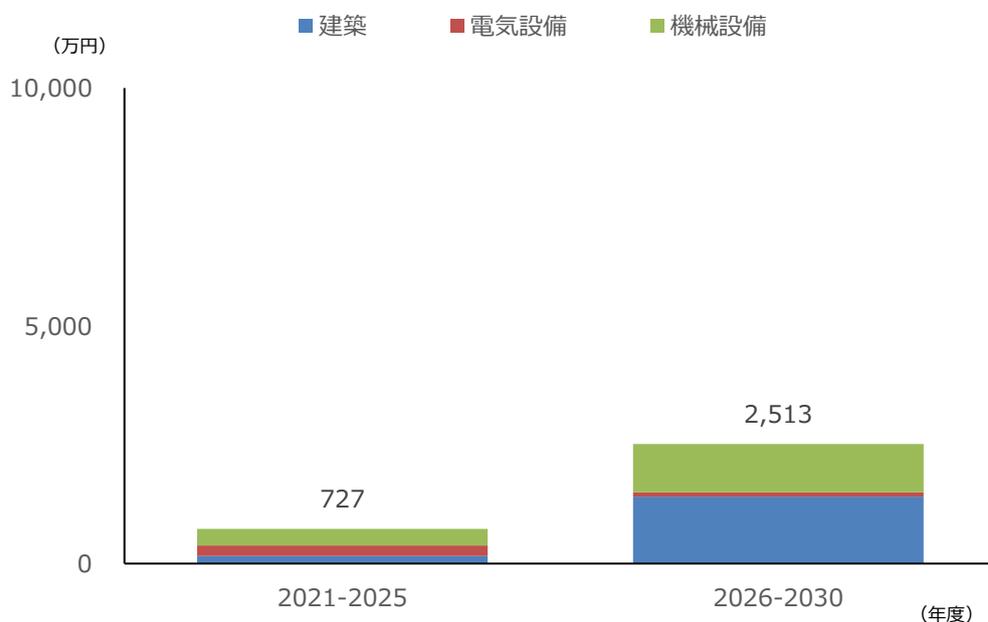
施設名称	方向性_機能	方向性_建物	2021 2022 2023 2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030										検討段階
			現状維持										
アクアトム（キッズパークつるが）	存続	現状維持	現状維持										決定

機能は存続、建物は現状維持とします。令和2（2020）年度に建築から20年を超えることから、長寿命化に向けた劣化診断を行い、必要箇所の改修を行います。

### (2) 概算費用

本計画期間中に要する概算費用（維持管理費用除く）は、耐用年数を越えた使用を見据えた場合、建築、電気設備、機械設備合わせて3,240万円を見込んでいます。ただし、この費用は今後の施設の状態、劣化診断等により変動します。

図表5 概算費用



※ 国土交通省官庁営繕部監修「建築物のライフサイクルコスト」の㎡単価に基づく試算。機械的な試算であり、「6（1）対策内容と実施時期」の内容とは連動していない。